

令和2年度 事業計画

(概要)

令和2年度の事業計画は、前年度比254万円減の2,167万円としました。2,167万円の内訳は、各種助成金が1,270万円、患者調査費が300万円、事業に関わる費用が597万円となります。助成金の内訳は、「呼吸の日(5月9日)」、「肺の日(8月1日)」に日本呼吸器学会が全国8カ所で開催する市民公開講座とGOLD日本委員会が開催する「日本COPDサミット」に共催する市民公開講座開催助成金が200万円、キャッスルマン病患者会、再発性多発軟骨炎患者会、J-LAMの会、東北白鳥会などの患者団体に対する助成金が70万円、呼吸器疾患の疫学調査、病態解明や予防法、治療法の開発などのグループ研究に助成する研究助成金が1,000万円です。また、日本呼吸器学会肺生理専門委員会の「呼吸不全に関する在宅ケア白書」作成WG、呼吸器疾患患者団体連合会との連携で作成する在宅呼吸ケア白書の患者調査費用として300万円を計画しました。その他事業に関わる費用として、例年の実績ベースを参考に597万円を事業運営費用として計画しました。

以上により、令和2年度は2,167万円の事業計画を立案致しました。

(内容)

| 摘 要 | 金 額 | 備 考 |
|------------|---------|--|
| 1.市民公開講座助成 | 200万円 | 「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿 中国・四国、九州の8件 「日本COPDサミット」の市民講座 東京の1件 |
| 2.患者団体助成 | 70万円 | キャッスルマン病患者会、神奈川もみじ会 再発性多発軟骨炎患者会、北海道低肺の会 J-LAMの会、東北白鳥会、ポリオの会 |
| 3.研究助成 | 1,000万円 | グループ研究に対する助成を5件 |
| 4.患者調査 | 300万円 | 在宅呼吸ケア白書の患者調査費 |
| 5.事業運営費用 | 597万円 | 事業運営に関わる諸費用 |
| | 2,167万円 | |